



# どうにかする力

泗水小学校だより  
R4. 5. 24(火)  
No. 5  
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに  
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成  
～「生きる力=どうにかする力」を育む教育活動を通して～

## 家族に感動をあたえる運動会に！（5月29日開催）

＜大会スローガン＞一人一人が輝く主役～団結してパワーを出し切ろう～  
この大会スローガンのもと、5月29日（日）の運動会に向けて、全校児童548人と先生方が力を合わせ、運動会を見に来てくれる家族に感動をあたえる運動会にしようと練習に励んでいます。いよいよ本番が近づいてきました。



児童会による大会スローガンの発表

開閉会式と応援団の練習を中心にした全体練習と、学年ごとの演技の練習が毎日続いており、先生方の指導をよく聞いて子どもたちは頑張っています。

しかし、今週から気温が30度近くまで上がって暑くなってきました。子どもたちは、暑い中の練習で疲れて帰ってくると思います。毎日お風呂に入り、できるだけ早く就寝して体調管理に十分注意していただけたらと思います。

なお、各家庭2名までの入場制限、応援場所・喫煙場所の指定など学校やPTAからお願いの文書が配付されています。お互いに気持ちよく観覧し、学校周辺の住民の皆様にご迷惑をおかけしないためのお願いです。ご協力をよろしくお願いいたします。



1、2年生表現「泗水のみんながうぶらぶる」



3、4年生表現「よっちょれソーラン」



5、6年生表現「泗水Color 2022」

★政府の基本的対処方針に、学校での体育の授業で活動する時のマスク着用は必要ないと明記されることになりました。本校でも、熱中症対策の観点から政府の方針に沿って子どもたちに伝えていきます。ご理解をよろしくお願いいたします。

### ☆校長室から独り言5☆

#### 運動会はすべての子どもが主役です

運動会が近づいてきました。泗水小の子どもたちは、いろいろな思いをもって運動会を迎えていることと思います。運動が苦手な子にも活躍の場をつくろうと、先生方は工夫されています。

昨年度の学校だよりにも書いた通り、私の息子は5歳の頃、両足に大やけどを負い、皮膚移植手術と入院・リハビリで保育園年長時代を過ごしました。小学校に入学しても、両足の皮膚が突っ張り、膝があまり曲げられない状態でした。運動は大好きでしたが、思うようには走れません。運動会が近づいてきました。かけっこで1位をとりたいと、毎日お風呂で激痛を我慢して正座をする膝のリハビリ、親子で近くの公園へ行き走る練習を繰り返して本番に臨みましたが、結果はビリ。その後中学生までは最下位か後ろから2番目を走っていました。私は野球部指導で息子の運動会をほとんど見たことはありませんでしたが、いつもそんな結果だったようです。

ところが、高校1年生の体育祭で、100m走で初めて1位になりました。リレーの選手にも初めて選ばれて、本当にうれしかったようです。「1位を走って気持ち良かった！」珍しく私に笑顔で話してくれました。小学校から続けた野球で鍛えられ、だんだん足も速くなったのでしょうか。高校では、運動部活をしていない生徒も多く、余裕で1位だったそうです。まさに「継続は力なり」。

骨折などのけがをして、今年の運動会には参加できない子どももいます。「今年は自分にできるところで頑張ろう。運動会は来年もあるからね。」と見学席の子どもたちに声をかけたところでした。